

建設副産物情報交換システム（COBRIS）

における調査データの確認の要点

平成26年12月

東京都建設副産物対策協議会

目 次

1. 工事データの確認に必要な作業の流れ.....	1
2. 工事監督員の作業について	2
2-1. 工事登録証明書及び再生資源利用計画書（実施書）確認の要点.....	2
2-2. 工事データの確認手順及び要点.....	6
2-2-1. 工事データの確認手順.....	8
2-2-2. 工事データの確認要点.....	14
2-3. チェックリストによる確認の要点	19
2-3-1. チェックリストによる確認方法.....	20

1. 工事データの確認に必要な作業の流れ

受注者が COBRIS にて登録した工事データを工事監督員が確認するタイミングは、受注者が工事施工計画を作成したとき、途中で施工計画が変更となったとき、施工が完了したとき、となります。このとき各段階で工事監督員がする作業は以下の通りです。

- ① 工事登録証明書及び再生資源利用[促進]計画書（実施書）の確認
- ② 工事データの確認
- ③ チェックリストによる確認
- ④ （修正がなければ）受注者に対し、工事データに問題がないことを連絡
- ⑤ （修正があれば）受注者に対し、工事データの修正を依頼

表 1-1 工事データの確認に必要な作業の流れ

	受注者	工事監督員
施工計画作成時 （施工計画変更時）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書」の提出 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【修正依頼あり時】 ①工事データの修正 ②「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書」の再提出 </div>	工事監督員は必ず以下の確認を行ってください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書」の確認 ②工事データの確認 ③チェックリストによる確認 【確認結果】 問題なし：問題がないことを連絡 問題あり：工事データの修正依頼 </div>
施工完了時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]実施書」の提出 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【修正依頼あり時】 ①工事データの修正 ②「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]実施書」の再提出 </div>	工事監督員は必ず以下の確認を行ってください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]実施書」の確認 ②工事データの確認 ③チェックリストによる確認 【確認結果】 問題なし：問題がないことを連絡 問題あり：工事データの修正依頼 </div>

※工事監督員は必ず以上の確認を行ってください。

2. 工事監督員の作業について

2-1. 工事登録証明書及び再生資源利用計画書（実施書）確認の要点

受注者が提出した「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書（実施書）」を確認するための要点は以下となります。

なお、その他の注意事項に関しては【別掲資料】を参考にしてください。

■ 工事登録証明書について

- ・ 建設業許可番号及び請負会社名に間違いは無いかな？
- ・ 調査区分が『計画のみ』となっているか？（施工完了時の確認では調査区分が『計画・実施』となっているか？）
 - ※『実施のみ』となっている場合は計画が未登録の状態を示す。
- ・ 発注機関等の工事概要に間違いがないか？

■ 再生資源利用計画書（実施書）について

【表面】

- ・ 右上の工事 ID が工事登録証明書の右上に記された工事 ID と一致するか？
- ・ 様式名に誤りがないか？
 - <施工計画作成時>
 - 様式 1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事用ー ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第 11 条通知別表」対応版ー
 - <施工完了時>
 - 様式 1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第 18 条再資源化報告」、「H24 建設副産物実態調査」対応版ー
- ・ 1. 工事概要の横は計画書の場合、『計画』となっているか？（実施書の場合、『実施』となっているか？）
- ・ 工事概要、建設資材利用計画（実施）の内容に問題はないか？

【裏面】

- ・ 右上の工事 ID が工事登録証明書の右上に記された工事 ID と一致するか？
- ・ 様式名に誤りがないか？
 - <施工計画作成時>
 - 様式 2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー
 - <施工完了時>
 - 様式 2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー
- ・ 建設副産物搬出計画（実施）の内容に問題はないか？

(1) 工事登録証明書の確認要点

作成日：平成26年12月01日
工事ID：1310880

①
建設業許可番号：国土交通大臣(一般)777777
(株)〇〇建設 殿

一般財団法人 日本建設情報総合センター

建設副産物情報交換システム工事登録証明書
(計画・実施)

本証明書は、下記の工事が平成26年12月01日現在、建設副産物情報交換システムに登録されていることを証明するものです。

記

②

工事概要

調査区分	: 計画・実施
発注機関	: 東京都 都市整備局 総務部
請負会社名	: (株)〇〇建設
会社所在地	: 東京都新宿区
工事名	: テスト街路築造工事(26-1)
工事場所	: 東京都新宿区地先
工期	: 平成26年04月01日 ~ 平成26年11月31日
請負金額	: 123,500,000,000円(税込)
工事概要等	: 東京都テスト用

【①】

- ・ 「建設許可番号」に間違いがないか？
- ・ 「請負会社名」に間違いがないか？

【②】

- ・ 「調査区分」に間違いがないか？
＜施工計画作成時＞
調査区分：計画のみ
＜施工完了時＞
調査区分：計画・実施
※ 「実施のみ」は計画が未登録を意味しています。
- ・ 発注機関等、「工事概要」に間違いがないか？

図 2-1 工事登録証明書確認の要点

(2) 再生資源利用[促進]計画書（実施書）の確認要点

1 / 2 建設副産物情報交換システム 工事ID: 1310880

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H24建設副産物実態調査」対応版

1. 工事概要

発注機関名 東京都 都市整備局 総務部 発注機関コード*1 9 | 9 | 9 | 9 | 0 | 2 担当 建設本部 TEL 03-1234-5678

発注者 建設本部 発注者コード*2 03 | 999981 | 0 | 0 | 0 | 0 代表者 田中太郎 代表者コード*3 03 | 1234 | 5678 法人年月日 平成 26年 12月 1日

会社所在地 東京都港区赤坂7丁目10番20号 Oビル5F TEL 03-1234-5678 FAX 03-1234-5678 調査員記入者 田中太郎

工事名 テスト街路築造工事(26-1) 工事種別コード*4 B | 1 | 2 請負金額 1,000,000円 (税込み) 工期 平成 26年 4月 1日から 平成 26年 11月 31日まで

工事施工場所 東京都 港区 赤坂 町 丁目 番 号 住居コード*5 1 | 0 | 1 | 0 | 4 工期 平成 26年 9月 30日まで

工事種別等 東京都アスト用 施工理由の内訳 (再生資源の利用に関する特記事項) 竣工理由 竣工が原因による解体工事

4. 建設資材利用実施

建設資材 (新材を含む全体の利用状況) 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入してください)

分類	小分類	種別	主な利用用途	消費量 (A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元施設の種類	再生資材の供給元場所住所	再生資材の名称	再生資材利用量 (B)	利用率	
											消費量(単位)
コンクリート	1	1	15.0	トン					0.0	0.0	
	合計		15.0	トン					0.0	0.0	
	再生			トン							
ブロック	1	1		トン							
	合計			トン							
	再生			トン							
アスファルト	1	1	130.0	総積m ³	【テスト】平成26年〇〇年〇〇月〇〇日	1	1	東京都港区赤坂7丁目	130.0	総積m ³	100.0
	合計		130.0	総積m ³					130.0	総積m ³	100.0
	再生			m ³							
土砂	1	1		m ³							
	合計			m ³							
	再生			m ³							
砕石	1	1		m ³							
	合計			m ³							
	再生			m ³							
砕石	1	1		m ³							
	合計			m ³							
	再生			m ³							
砕石	1	1		m ³							
	合計			m ³							
	再生			m ³							

コンクリートについて
1. 再生コン (再生資材) 2. 再生コン (再生資材) 3. 再生コン (再生資材) 4. 再生コン (再生資材) 5. 再生コン (再生資材) 6. 再生コン (再生資材) 7. 再生コン (再生資材) 8. 再生コン (再生資材) 9. 再生コン (再生資材) 10. 再生コン (再生資材) 11. 再生コン (再生資材) 12. 再生コン (再生資材) 13. 再生コン (再生資材) 14. 再生コン (再生資材) 15. 再生コン (再生資材) 16. 再生コン (再生資材) 17. 再生コン (再生資材) 18. 再生コン (再生資材) 19. 再生コン (再生資材) 20. 再生コン (再生資材) 21. 再生コン (再生資材) 22. 再生コン (再生資材) 23. 再生コン (再生資材) 24. 再生コン (再生資材) 25. 再生コン (再生資材) 26. 再生コン (再生資材) 27. 再生コン (再生資材) 28. 再生コン (再生資材) 29. 再生コン (再生資材) 30. 再生コン (再生資材) 31. 再生コン (再生資材) 32. 再生コン (再生資材) 33. 再生コン (再生資材) 34. 再生コン (再生資材) 35. 再生コン (再生資材) 36. 再生コン (再生資材) 37. 再生コン (再生資材) 38. 再生コン (再生資材) 39. 再生コン (再生資材) 40. 再生コン (再生資材) 41. 再生コン (再生資材) 42. 再生コン (再生資材) 43. 再生コン (再生資材) 44. 再生コン (再生資材) 45. 再生コン (再生資材) 46. 再生コン (再生資材) 47. 再生コン (再生資材) 48. 再生コン (再生資材) 49. 再生コン (再生資材) 50. 再生コン (再生資材) 51. 再生コン (再生資材) 52. 再生コン (再生資材) 53. 再生コン (再生資材) 54. 再生コン (再生資材) 55. 再生コン (再生資材) 56. 再生コン (再生資材) 57. 再生コン (再生資材) 58. 再生コン (再生資材) 59. 再生コン (再生資材) 60. 再生コン (再生資材) 61. 再生コン (再生資材) 62. 再生コン (再生資材) 63. 再生コン (再生資材) 64. 再生コン (再生資材) 65. 再生コン (再生資材) 66. 再生コン (再生資材) 67. 再生コン (再生資材) 68. 再生コン (再生資材) 69. 再生コン (再生資材) 70. 再生コン (再生資材) 71. 再生コン (再生資材) 72. 再生コン (再生資材) 73. 再生コン (再生資材) 74. 再生コン (再生資材) 75. 再生コン (再生資材) 76. 再生コン (再生資材) 77. 再生コン (再生資材) 78. 再生コン (再生資材) 79. 再生コン (再生資材) 80. 再生コン (再生資材) 81. 再生コン (再生資材) 82. 再生コン (再生資材) 83. 再生コン (再生資材) 84. 再生コン (再生資材) 85. 再生コン (再生資材) 86. 再生コン (再生資材) 87. 再生コン (再生資材) 88. 再生コン (再生資材) 89. 再生コン (再生資材) 90. 再生コン (再生資材) 91. 再生コン (再生資材) 92. 再生コン (再生資材) 93. 再生コン (再生資材) 94. 再生コン (再生資材) 95. 再生コン (再生資材) 96. 再生コン (再生資材) 97. 再生コン (再生資材) 98. 再生コン (再生資材) 99. 再生コン (再生資材) 100. 再生コン (再生資材)

図 2-2 再生資源利用計画書（実施書）確認の要点（表面）

- ① 「工事 ID」が「工事登録証明書」と一致するか？
- ② 様式名に間違いがないか？
＜施工計画作成時＞
様式1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事用ー 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版
＜施工完了時＞
様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H24建設副産物実態調査」対応版
- ③ 「工事概要」に間違いがないか？
- ④ 「建設資材利用計画（実施）」の内容に間違いがないか？
■ 施工計画作成時
2. 建設資材利用計画
■ 施工完了時
2. 建設資材利用実施

2-2. 工事データの確認手順及び要点

受注者が COBRIS に登録した工事データを工事監督員が確認する場合は、COBRIS の工事・文字検索機能を利用して受注者が登録した工事データを確認します。特に、以下の表に記す建設発生木材、建設汚泥、建設発生土に関する確認事項は必ずチェックしてください。

なお、その他の注意事項に関しては【別掲資料】を参考にしてください。

※ 工事データの確認手順については 8 ページの「図 2-4 工事データの確認手順」を確認してください。

表 2-1 建設発生木材、建設汚泥、建設発生土に関する確認事項

種類	No	項目	留意事項と確認事項
建設発生木材、建設汚泥、建設発生土に関する確認事項	1	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《用途の欄》 現場内利用の対象がある場合は、入力されていること。(事例は少ないので本当に該当するかよく確認すること) ○ 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自ら利用(現場内利用)した場合は『裏込材』が選択されていること ○ 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシールドエインバート等に自ら利用(現場内利用)した場合は『埋戻し材』が選択されていること
	2	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《利用量(トン)の欄》 以下の場合にはその現場内利用量が入力されていること。 ○ 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自ら利用(現場内利用)した量 ○ 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシールドエインバート等に自ら利用(現場内利用)した量
	3	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《改良分(トン)の欄》 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。
	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《減量法の欄》 以下の場合には便宜的に全て『その他』が入力されていること。 ○ 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生土となったもの) ○ 分級量 (分級土搬出量) ○ 処理工程による脱水量 (脱水した水の量) ○ 処理工程により泥状を呈しなくなった量
	5	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《減量化量(トン)の欄》 以下の合計が入力されていること。 ○ 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生土となったもの) ○ 分級量 (分級土搬出量) ○ 処理工程による脱水量 (脱水した水の量) ○ 処理工程により泥状を呈しなくなった量

6	建設副産物の「建設発生木材」の現場外搬出	<p>《搬出先の種類の欄》</p> <p>熱回収(サーマルリサイクル)施設の場合は「6. サーマル」を入力、チップ化施設、選別施設の場合は、「5. 中間合外」を入力すること。</p>
7	建設副産物の「建設汚泥」の現場外搬出	<p>《搬出先の種類の欄》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海面処分場の覆土材利用(個別指定による工事間利用)は全て「2.他工事」が入力されていること 2. 再資源化施設(中間処理施設)に搬出した場合は全て「5. 中間合外」が入力されていること 3. いかなる場合も、「2.他工事」、「5.中間合外」以外が入力されていない 4. 一体の施工システム内での処理工程により建設発生土となった場合は、この画面に入力されていない。必ず、建設発生土の画面で入力されていること
8	建設副産物の「建設汚泥」の現場外搬出	<p>《現場外搬出量(トン)の欄》</p> <p>実際に現場外へ搬出した量のみ入力されていること。</p> <p>注) 泥水か泥土状の建設泥土として現場外へ搬出するものだけを入力すること。減量化量(分別量、分級量、処理工程による脱水量、処理工程により泥状を呈しなくなった建設発生土の量)は絶対に加算してはならない。</p>
9	建設副産物の「建設汚泥」の現場外搬出	<p>《改良分(トン)の欄》</p> <p>改良分の欄は、「0」となっていること。</p>
10	<p>建設副産物の「第一種建設発生土」～「第四種建設発生土」、「浚渫土」の現場外搬出</p> <p>※ 指定処分(A)は、以下のいずれかが選択されていることが基本となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 売却 2. 他工(陸) 3. 他工(海) 4. 改プラ(決) 5. 改プラ(未) 6. スト(決) 	<p>《搬出先の種類の欄》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事間利用、UCR 事業地の場合は、「2. 他工(陸)」が入力されていること。 2. 東京都建設発生土再利用センター、青梅建設発生土再利用事業所、中川プラント、民間の土質改良プラントは「4. 改プラ(決)」が入力されていること。 3. 埠頭(株)の中防内側受入基地は「6. スト(決)」が入力されていること。 4. 埠頭(株)の新海面処分場、大井埠頭その1・その2間埋立事業用建設発生土受入地は「3. 他工(海)」が入力されていること。 5. 指定処分(B)、(C)は「14. 受入(民)」が入力されていること。 <p>※ ただし、宅地造成、土地改良等の土砂利用計画が明確である場合は「2. 他工(陸)」を選択すること。</p>

2-2-1. 工事データの確認手順

受注者が COBRIS に登録した工事データを工事監督員が確認するときの流れは、以下の図のようになります。

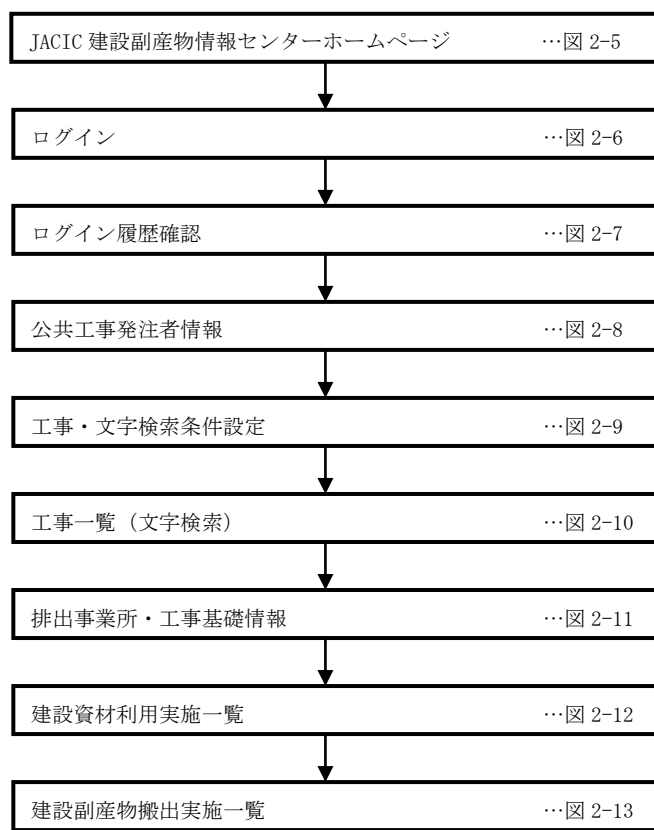


図 2-4 工事データの確認手順

※1 各画面イメージについては9ページ以降を参考にしてください。

※2 詳しい操作手順についてはCOBRISの操作マニュアルをご覧ください。

操作マニュアルについては、JACIC 建設副産物情報センターのホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.recycle.jacic.or.jp/>



図 2-5 建設副産物情報センターホームページ

※ 建設副産物情報センターホームページ

URL <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

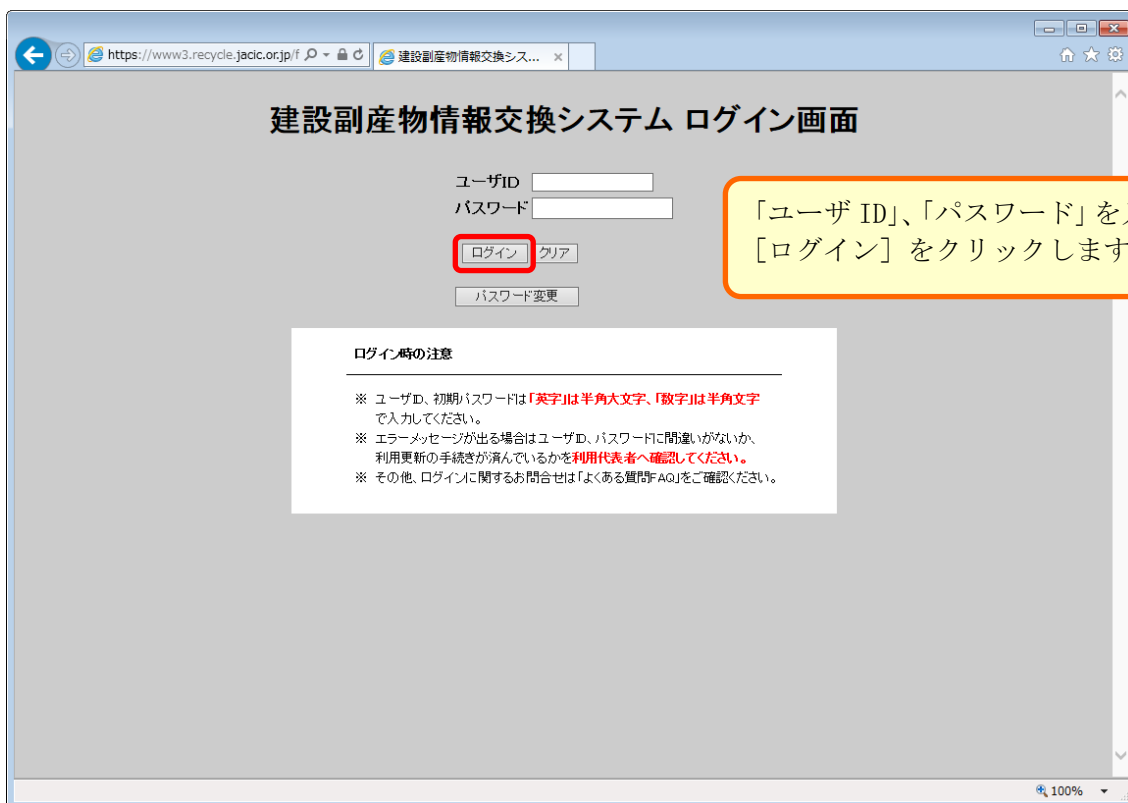


図 2-6 ログイン画面

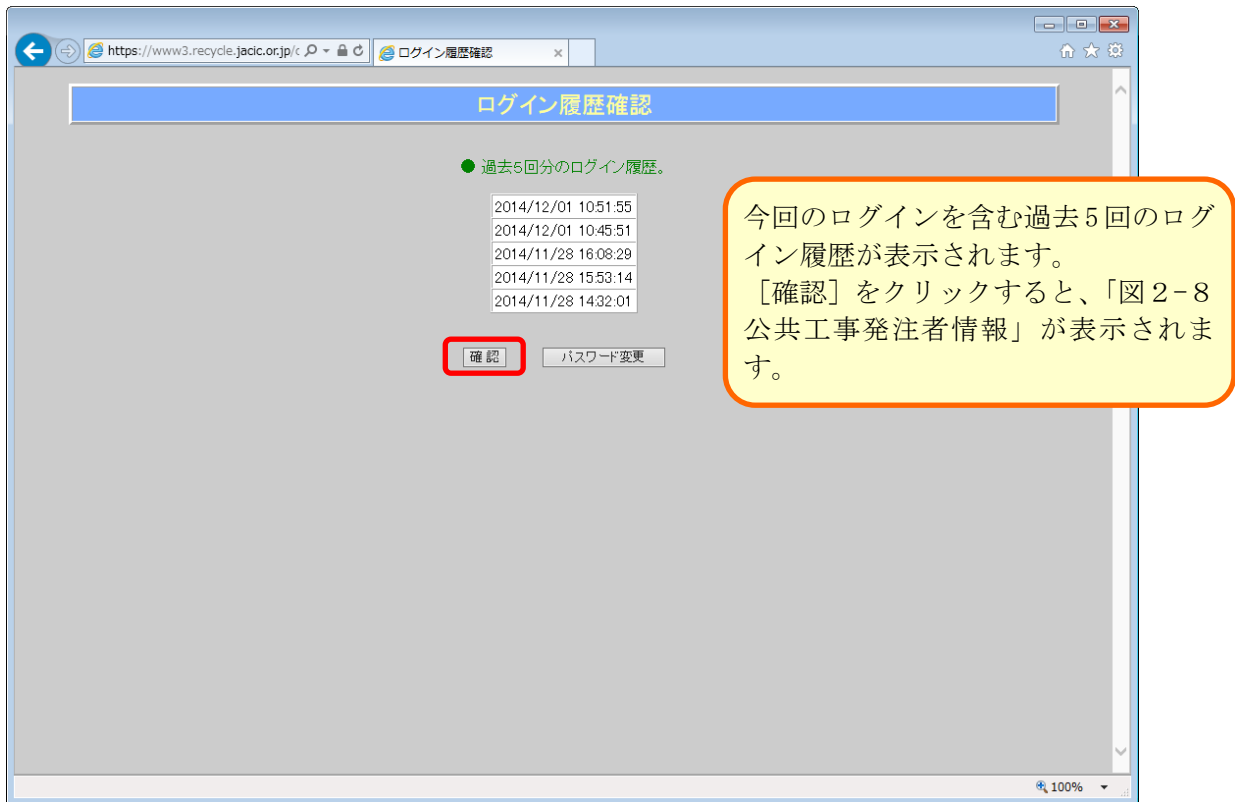


図 2-7 ログイン履歴確認

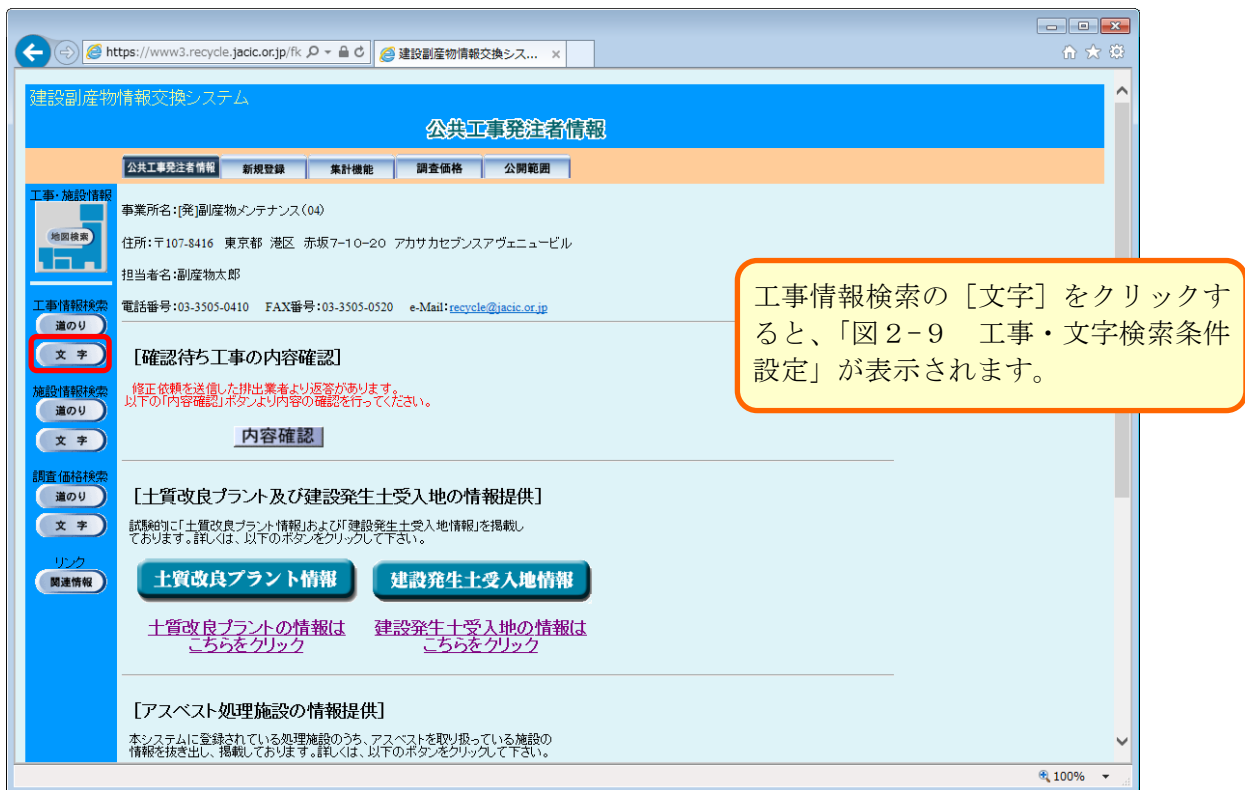


図 2-8 公共工事発注者情報

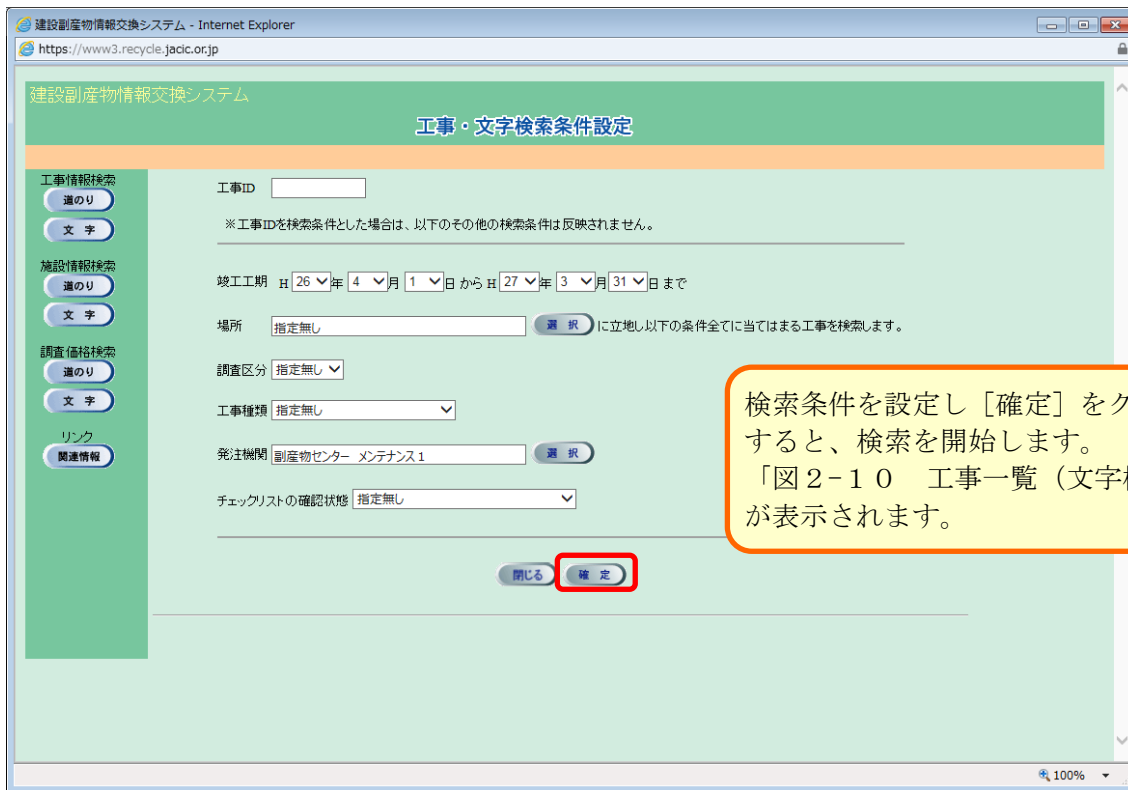


図 2-9 工事・文字検索条件設定



図 2-10 工事一覧 (文字検索)



図 2-1 1 排出事業所・工事基礎情報



図 2-1 2 建設資材利用実施一覧

建設副産物情報交換システム - Internet Explorer
 https://www3.recycle.jacic.or.jp

CREIDAS
 建設副産物搬出実施一覧

建設副産物情報交換システム CREIDAS

事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物搬出(詳細) 建設資材利用実績 建設副産物搬出実績 10条様式 各種書類の印刷

工事情報検索
 道のり
 文字

施設情報検索
 道のり
 文字

調査価格検索
 道のり
 文字

リンク
 関連情報

建設副産物種類

コンクリート塊 建設木材A アス・コン塊 その他がれき類 建設木材B 建設汚泥 金属くず
 繊維化ビニル管・継手 廃プラスチック 廃石膏ボード 紙くず アスベスト その他 建設混合廃棄物
 第一種建設発生土 第二種建設発生土 第三種建設発生土 第四種建設発生土 浚渫土以外の泥土 浚渫土

コンクリート塊
 実施

(A)発生量(トン)	現場内利用	減量化	(D)現場外搬出量合計	(E)再生資源利用促進量	再生資源利用促進率
(A)=(B)+(C)+(D)用途	(B)利用量(トン)	改良分(トン)	減量法(C)減量化量(トン)	(トン)	((B)-(C)-(E))/(A)*100
170.0	0.0	0.0	-	-	170.0
					170.0
					100.0%

(1件中1~1件目を表示)

現場外搬出について

搬出先名称		区分	施工条件 運搬距離(km)	搬出先の種類	現場外搬出	
搬出先場所(市区町村名)	搬出先場所(地先)				(D)現場外搬出量(トン)	改良分(トン)
○Mリサイクル		民間	1 A指定	5 中間合外	170.0	0.0
東京都江東区			10			

各品目のボタンをクリックすると、クリックした品目のボタンの色が反転し、品目画面が表示されます。入力のある品目毎に確認を行います。

図 2-1 3 建設副産物搬出実施一覧

2-2-2. 工事データの確認要点

受注者が COBRIS に登録した工事データを工事監督員が確認するときの要点は以下の図のようになります。

建設副産物搬出実施一覧

建設副産物情報交換システム CREDAS

事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物搬出(詳細) 建設資材利用実績 建設副産物搬出実績 10条様式 各種書類の印刷

工事情報検索
道のり
文字

施設情報検索
道のり
文字

調査価格検索
道のり
文字

リンク
関連情報

建設汚泥

(A)発生量(トン) (A)=(B)+(C)+(D)	現場内利用 (B)利用量(トン)	(C)改良分(トン)	減量化 減量法 (C)減量化量(トン)	(D)現場外搬出量合計 (トン)	(E)再生資源利用促進量 (トン)	再生資源利用促進率 (B)+(C)+(E)/(A)*100
620.0	100.0	100.0	20.0 その他	500.0	500.0	100.0%

(1件中1~1件目を表示)

現場外搬出について

搬出先名称		区分	施工条件 運搬距離(km)	搬出先の種類 5.中間合外	現場外搬出	
搬出先場所(市区町村名)	搬出先場所(地先)				(D)現場外搬出量(トン)	改良分(トン)
〇〇リサイクルセンター	赤坂7丁目	民間	1.A指定 8	5.中間合外	500.0	0.0

図 2-1 4 現場内利用の確認要点 (建設汚泥)

【 ① 】

- ・ 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自ら利用（現場内利用）した場合は、『裏込材』が選択されていること。
- ・ 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシールド工インバート等に自ら利用（現場内利用）した場合は『埋戻し材』が選択されていること。

※ 現場内利用の事例が少ないので、本当に該当するか確認すること。

【 ② 】

- ・ 利用量は以下の場合にはその現場内利用が入力されていること。
 - 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自ら利用（現場内利用）した量。
 - 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシールド工インバート等に自ら利用（現場内利用）した量。

【 ③ 】

- ・ 改良分は、利用量と同じ量が入力されていること。



図 2-1 5 減量化の確認要点 (建設汚泥)

【 ① 】

- ・ 減量法は以下の場合には便宜的に全て『その他』が入力されていること。
 - 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生土となったもの)。
 - 分級量 (分級土搬出量)
 - 処理工程による脱水量 (脱水した水の量)
 - 処理工程により泥状を呈しなくなった量

【 ② 】

- ・ 減量化量 (トン) は以下の合計が入力されていること。
 - 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生土となったもの)。
 - 分級量 (分級土搬出量)
 - 処理工程による脱水量 (脱水した水の量)
 - 処理工程により泥状を呈しなくなった量

建設副産物情報交換システム - Internet Explorer
 https://www3.recycle.jacic.or.jp

CREIDAS

建設副産物搬出実施一覧

建設副産物情報交換システム CREDAS

事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物搬出(詳細) 建設資材利用実績 建設副産物搬出実績 10条様式 各種書類の印刷

工事情報検索
 道のり
 文字

施設情報検索
 道のり
 文字

調査価格検索
 道のり
 文字

リンク
 関連情報

建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)
 実施

(A)発生量(トン)	現場内利用	減量化	(D)現場外搬出量合計	(E)再生資源利用促進量	再生資源利用促進率
(A)=(B)+(C)+(D)	用途(B)利用量(トン) 改良分(トン)	減量法(C)減量化量(トン)	(トン)	(トン)	((B)+(C)+(E))/(A)*100%
10.0	0.0 0.0	-	10.0	10.0	100.0%

(1件中1~1件目を表示)

現場外搬出について ①

搬出先名称		区分	施工条件 運搬距離(km)	搬出先の種類	現場外搬出	
搬出先場所(市区町村名)	搬出先場所(地先)			(D)現場外搬出量(トン)	改良分(トン)	
○施設	東京都港区	公共	1.A指定	6.サーマル	10.0	-

図 2-1 6 現場外搬出量の確認要点 (建設発生木材)

【 ① 】

- ・ 熱回収 (サーマルリサイクル) 施設の場合は「6. サーマル」を入力、チップ化施設、選別施設の場合は、「5. 中間合外」を入力すること。

建設副産物情報交換システム - Internet Explorer
 https://www3.recycle.jaic.or.jp

CREIDAS

建設副産物搬出実施一覧

建設副産物情報交換システム CREDAS

事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物搬出(詳細) 建設資材利用実績 建設副産物搬出実績 10条様式 各種書類の印刷

工事情報検索
 道のり
 文字

施設情報検索
 道のり
 文字

調査価格検索
 道のり
 文字

リンク
 関連情報

建設汚泥

実施

(A)発生量(トン)	現場内利用	減量化	(D)現場外搬出量合計	(E)再生資源利用促進量	再生資源利用促進率
(A)=(B)+(C)+(D)	用途(B)利用量(トン) 改良分(トン)	減量法(C)減量化量(トン)	(トン)	(トン)	$\frac{(B)+(C)+(E)}{(A)} \times 100$
5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	100.0%

<1件中1~1件目を表示>

現場外搬出について

搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	現場外搬出	改良分(トン)
搬出先場所(市区町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離(km)		(D)現場外搬出量(トン)	
〇〇リサイクルセンター	民間	2.B指定	2.他工事	5.0	0.0
東京都港区	赤坂7丁目				

図 2-17 現場外搬出量の確認要点（建設汚泥）

【 ① 】

- ・ 搬出先の種類について。
 - 海面処分場の覆土材利用（個別指定による工事間利用）は全て『2. 他工事』が入力されていること。
 - 再生資源化施設（中間処理施設）に搬出した場合は全て『5. 中間合外』が入力されていること。
 - いかなる場合も、『2. 他工事』、『5. 中間合外』以外が入力されてはならない。
 - 一体の施工システム内での処理工程により建設発生土となった場合は、この画面に入力されてはならない。必ず、建設発生土の画面で入力されていること。

【 ② 】

- ・ 現場外搬出量は実際に現場外へ搬出した量のみ入力されていること。
 (注) 泥水か泥土状の建設泥土として現場外へ搬出するものだけを入力すること、減量化量（分別量、分級量、処理工程による脱水量、処理工程により泥状を呈しなくなった建設発生土の量）は絶対に加算してはならない。

【 ③ 】

- ・ 改良分は『0』となっていること。

建設副産物情報交換システム - Internet Explorer
https://www3.recycle.jacic.or.jp

工事情報検索
道のり
文字

施設情報検索
道のり
文字

調査価格検索
道のり
文字

リンク
関連情報

コンクリート塊 建設木材A アス・コン塊 その他がれき類 建設木材B 建設汚泥 金属くず
炭酸化ビニル管・継手 廃プラスチック 廃石膏ボード 紙くず アスベスト その他 建設混合廃棄物
第一種建設発生土 第二種建設発生土 第三種建設発生土 第四種建設発生土 浚渫土以外の泥土 浚渫土

第一種建設発生土

実施

合計							
(A)発生量(地山m ³) (A)=(B)+(C)+(D)	現場内利用		減量化		(D)現場外搬出量合計 (地山m ³)	(E)再生資源利用促進量 (地山m ³)	再生資源利用促進率 (B)+(C)+(E)/(A)*100
	用途	(B)利用量 (地山m ³)	改良分 (地山m ³)	減量法 (C)減量化量			
3000.0	-	2000.0	0.0	-	1000.0	1000.0	100.0%

第一種建設発生土

(A)発生量(地山m ³) (A)=(B)+(C)+(D)	現場内利用		減量化		(D)現場外搬出量合計 (地山m ³)	(E)再生資源利用促進量 (地山m ³)	再生資源利用促進率 (B)+(C)+(E)/(A)*100
	用途	(B)利用量 (地山m ³)	改良分 (地山m ³)	減量法 (C)減量化量			
3000.0	埋戻し 材	2000.0	0.0	-	1000.0	1000.0	100.0%

(1件中1~1件目を表示)
現場外搬出について ①

搬出先名称	搬出先場所(市区町村名)	搬出先場所(地先)	区分	施工条件 運搬距離(km)	搬出先の種類	現場外搬出	
(有)△△リサイクルセンター	東京都区	赤坂7丁目	民間	1.A指定	1.売却	(D)現場外搬出量(地山m ³)	改良分(地山m ³)
						1000.0	0.0

図 2-18 現場外搬出量の確認要点 (建設発生土)

【 ① 】

- ・ 搬出先の種類について。
 - 工事間利用、UCR 事業地の場合は、『2. 他工 (陸)』が入力されていること。
 - 建設発生土再利用センター、青梅建設発生土再利用事業所、中川プラント、民間の土質改良プラントは、『4. 改プラ(決)』が入力されていること。
 - 埠頭 (株) の中防内側受入基地は『6. スト (決)』が入力されていること。
 - 埠頭 (株) の新海面処分場、大井埠頭その1・その2間埋立事業用建設発生土受入地は『3. 他工 (海) 』が入力されていること。
 - 指定処分 (B)・(C) は『1.4. 受入 (民)』が入力されていること。
- ※ ただし、宅地造成、土地改良等の土砂利用計画が明確である場合は、『2. 他工 (陸)』を選択すること。

※ 指定処分 (A) は、『1~6』が入力されていることが基本となります。
『1. 売却』、『2. 他工 (陸)』、『3. 他工 (海)』、『4. 改プラ (決)』、『5. 改プラ (未)』、『6. スト (決)』

2-3. チェックリストによる確認の要点

チェックリストによる確認の要点は以下となります。

なお、その他の注意事項に関しては【別掲資料】を参考にしてください。

- ① COBRIS に接続し、チェックリストを作成し確認する。
- ② チェックリスト作成時に、「検索対象にエラーがありません」と出たときは、「確認済みマーク」を実行する。
- ③ チェックリストが作成された場合はリストを確認し、受注者に工事情報の確認及び修正を指示する。リストの確認方法については以下からダウンロードできる「チェックリスト解説書（COBRIS発注者用）」を参考のこと。

【チェックリスト解説書（COBRIS発注者用）のダウンロード】

<http://www.recycle.jacic.or.jp/>

2-3-1. チェックリストによる確認方法

受注者が COBRIS に登録した工事情報を工事監督員がチェックリストを作成して内容を確認するときの流れは以下の図のようになります。

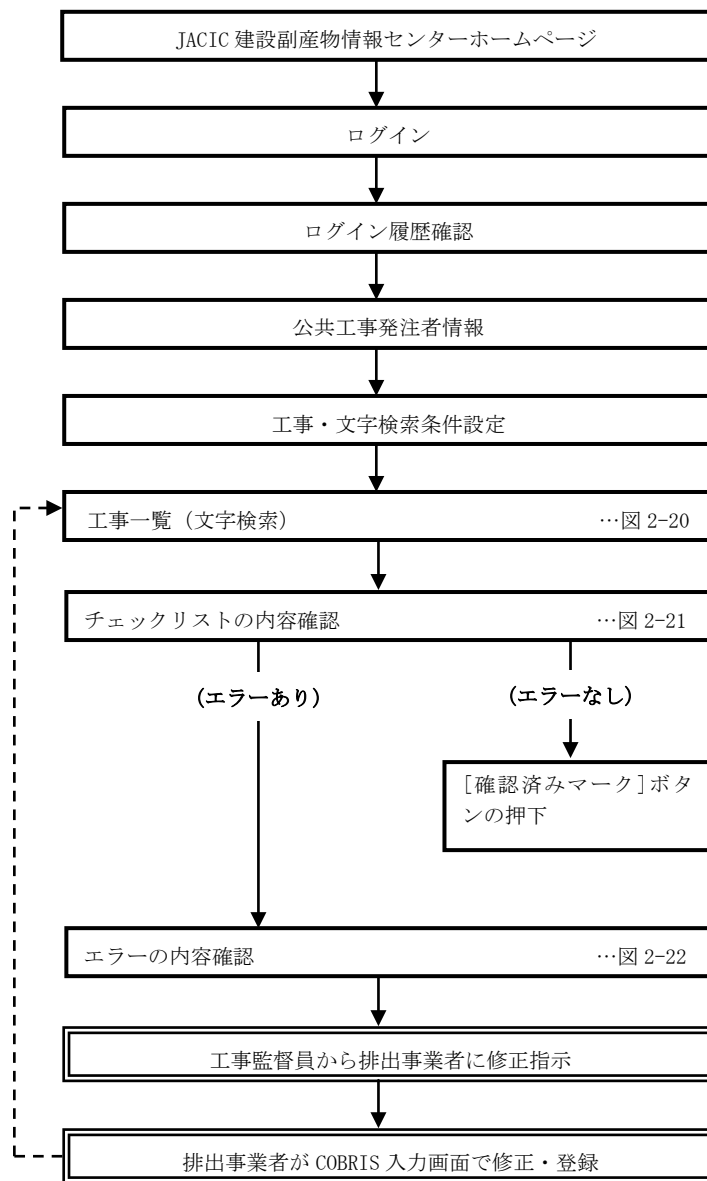


図 2-19 チェックリストによる確認手順

※1 各画面イメージについてはパワーポイント資料（COBRISにおける調査データの確認手順と各種機能について）を参考にしてください。

※2 詳しい操作手順についてはCOBRISの操作マニュアルをご覧ください。

操作マニュアルについては、JACIC 建設副産物情報センターのホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

建設副産物情報交換システム - Internet Explorer
 https://www3.recycle.jacic.or.jp

建設副産物情報交換システム
工事一覧 (文字検索)

(5件中1~5件目を表示)

各種書類の印刷 | 各種書類の印刷(全件データ)

出力	工事ID	事業所	調査区分	竣工年度	発注機関	工事名	工事種別	工事場所	(地先)	着工	竣工	チェックリストの確認状態	事業所 工事情報	地図	工事情報 更新	工事情報 削除
<input type="checkbox"/>	1337225	(排)副産物メンテナンス(17)	実施	H26	副産物センター、メンテナンス1	△△町工	修繕・模様替え(建築)	東京都港区	赤坂	H26/07/10	H26/10/1	チェック済	表示	表示	更新	削除
<input type="checkbox"/>	2274547	(排)副産物メンテナンス(17)	実施	H26	副産物センター、メンテナンス1	【テスト】○○町○○号舗装修繕工事(実施のみ)	築堤(河川)	東京都港区	赤坂7丁目10番20号	H26/10/14	H26/10/1	チェック済	表示	表示	更新	削除
<input type="checkbox"/>	1380526	(排)副産物メンテナンス(17)	実施	H26	副産物センター、メンテナンス1	【テスト】平成26年度○○号舗装工事2	舗装(道路)	東京都港区	赤坂7丁目10番20号	H26/04/01	H26/10/0	確認済み	表示	表示	更新	削除
<input type="checkbox"/>	2347948	(排)副産物メンテナンス(17)	実施	H26	副産物センター、メンテナンス1	テスト新築都営住宅電気設備関係工事	その他(道路)	東京都港区	赤坂5丁目11番地から7丁目10番地先開	H23/05/01	H27/03/3	チェック済	表示	表示	更新	削除
<input type="checkbox"/>	1787047	(発)副産物メンテナンス(29)	実施	H26	副産物センター、メンテナンス1	(テスト)20140526 〇〇 帳票確認	改良(道路)	東京都港区	赤坂	H26/04/01	H26/10/0	未確認	表示	表示	更新	削除

戻る

項目名をクリックすると、その項目について見順で並び替えができます

[チェックリストの確認状態] 欄の [未確認 (または、チェック済、依頼中、確認待ち、確認済み)] をクリックすると、チェックリストがダウンロードできる「図2-21 チェックリストの内容確認」が表示されます。

図2-20 工事一覧 (文字検索)

建設副産物情報交換システム - Internet Explorer
 https://www3.recycle.jacic.or.jp/fk_web/ser/vlet/Nyuryoku?UICODE=C14&ACTION=INIT&KOUJI_ID=1380526&r

チェックリストの内容確認

[工事情報]
 状態: 確認済み
 工事名: 【テスト】平成26年度○○号舗装工事2
 工事場所: 東京都港区
 工期 (着工): H26/4/1 (竣工): H26/10/1

[事業所情報]
 加入状態: 加入
 業者名: (排)副産物メンテナンス(17)
 TEL: 03-3505-0410

[チェックリスト出力]
 当該工事のチェックリストをダウンロードします。
 チェックリスト出力

[確認済みマークの実行]
 当該工事について、確認済みマークの実行を行い、確認済みマークが実行されたことを知らせる電子メールを送信します。確認済みマークを実行すると、取りまとめ時に行うチェックから除外することが可能です。また、電子メールは(宛先)に表示されているアドレス宛に送信されます。必要に応じて修正してください。同様のメールをCCとして送信する場合は、以下の(CC)欄にアドレスを記入してください。
 アドレス: (宛先) sup_fuku1@jacic.or.jp
 (CC) _____
 確認済みマーク

[排出業者へ連絡]
 該当工事を登録した排出業者に、修正等の依頼をシステム上と電子メールから送信します。コメントに依頼内容を記入し、「排出業者へ連絡」ボタンをクリックしてください。また、電子メールは(宛先)に表示されているアドレス宛に送信されます。必要に応じて修正してください。同様のメールをCCとして送信する場合は、以下の(CC)欄にアドレスを記入してください。注意: 加入状態が未加入の業者は、依頼内容をシステム上から確認することは出来ません。
 アドレス: (宛先) sup_fuku1@jacic.or.jp
 (CC) _____
 コメント: _____
 (全角100文字以内)

100%

チェックリストをダウンロードします。ダウンロードしたファイルは圧縮されていますので、解凍後、チェックリストの内容を確認します。また、「検索対象にエラーがありません」と表示されたときは、本画面下の「確認済みマーク」をクリックし、受注者に登録内容に問題がなかったことを連絡します。

図2-21 チェックリストの内容確認

チェックリスト

COBRIS版 CREDAS
作成日：2014/12/01

副産物センター メンテナンス1

【検索条件】 調査区分：指定なし 工事場所：指定なし 発注機関：指定なし

工事ID：1380526 調査区分：実施 工事名称：【テスト】平成26年度〇〇号舗装工事2 1/1

発注担当者：建設太郎

工事種類：B-2 舗装（道路）

請負金額：12,350,000万円

工期：H26年4月1日～H26年10月1日

発生箇所	入力値	エラー内容（※は必須）	コメント
工事概要 延床面積	60	5. 工事種別	建築系の工事以外で延床面積等が入力されています。
工事概要 建築面積	30	5. 工事種別	建築系の工事以外で延床面積等が入力されています。
工事概要 構造	2	5. 工事種別	建築系の工事以外で延床面積等が入力されています。
工事概要 請負金額	12350000	9. リンクオーバー	データの再確認をして下さい。（異常値の疑いがあります。）
様式1・【土砂】 再生資材利用量	130.0	19. 不整合	対応する現場内利用が無いか、供給元が「現場内」となっていません。

チェックリストの解説は JACIC より提供されている「チェックリスト解説書（COBRIS 発注者用）」を参考にしてください。

図 2-2 2 チェックリスト (PDF 形式)

【別掲資料】

工事データの確認時における注意事項

- (1) 受注者から「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書（実施書）」が提出されているか、必ず確認してください。

受注者が COBRIS を利用した場合は、CREDAS 入力システムを利用した場合と比べて提出書類に以下の違いがあります。

- ① 「工事登録証明書」を印刷することができます。
- ② 「再生資源利用[促進]計画書（実施書）」の右上に『建設副産物情報交換システム 工事 ID : XXXXXX 』が明記されています。

- (2) 建設廃棄物の現場外搬出時の『搬出先の種類』に【10. 他】が選択されている場合は、必要に応じて選択し直してください。

※ 『搬出先の種類』が【10. 他】の場合は、リサイクル率に計上されません。リサイクル率に計上される他の選択肢があてはまる場合がありますので、搬出先は必ず確認してください。

- (3) 建設発生土の「第一種建設発生土」～「第四種建設発生土」、「浚渫土」の現場外搬出時は、以下のフローに基づいた『搬出先の種類』が正しく選択されているか、必ず確認してください。

※ 詳細は p.7 をご参照ください。

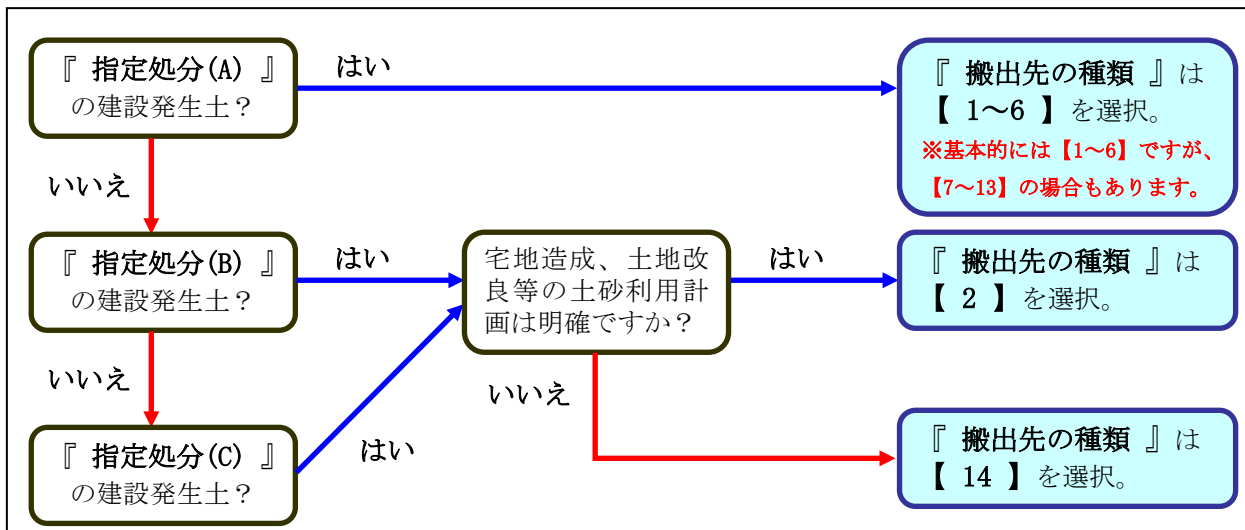


図 2-6 『搬出先の種類』の選択基準フロー

- (4) 工事データの記載内容の確認は、必ず COBRIS のチェックリストで確認してください。

※ 工事データの記載漏れは COBRIS を使用していれば問題ありませんが、記載内容の入力ミス等はチェックリストを出力しないと確認することはできません。